

議 事

委員からの視察報告と
ブランド化に向けた助言



東京宝島推進委員による視察

- ◆ 山田 敦郎委員長 八丈島・三宅島(10/31~11/2)
神津島(11/17~18)
- ◆ 河野 奈保委員 新島(11/20)
- ◆ 大洞 達夫委員 利島・大島(10/18~19)
- ◆ 楓 千里委員、アレックス・カー委員
青ヶ島・八丈島(10/28~29)

委員からの視察報告

<八丈島・三宅島>

山田 敦郎 委員長



八丈島



三宅島



大島

利島

新島

式根島

神津島

三宅島

御蔵島

八丈島

青ヶ島

父島

母島

八丈島ウォーキング・見どころマップ/Hachijojima Walking & Sightseeing Map



八丈島/Hachijojima

A

B

C

D

1

2

3

羽瀬島・東京へ
To Mikurashima/Tokyo
Ise Bay
伊瀬海峡

神湊港/Kaminato Port

三俣港
Sokodo Port

野取港
Noboryo-ko

登龍神観望台
Noboryo-toge Observatory

町役場
Town Hall

八丈島空港
Hachijojima Airport

八丈島観光協会
Hachijojima Tourism Association

八丈島
Hachijojima

三俣山/Mt. Mihara
(東山/Mt. Higashi)

東白雲山
Mt. Higashihaku

御中滝/Miyuki-taki Waterfall

北限白生地
Northern limit of wild Jeogo (Cyathea sp.)

三俣山/Mt. Mihara-taki Waterfall

東台子山/Mt. Taidashi

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

三俣港/Mihara-taki Waterfall

八丈島・三宅島 10月31日(木)～11月2日(土)

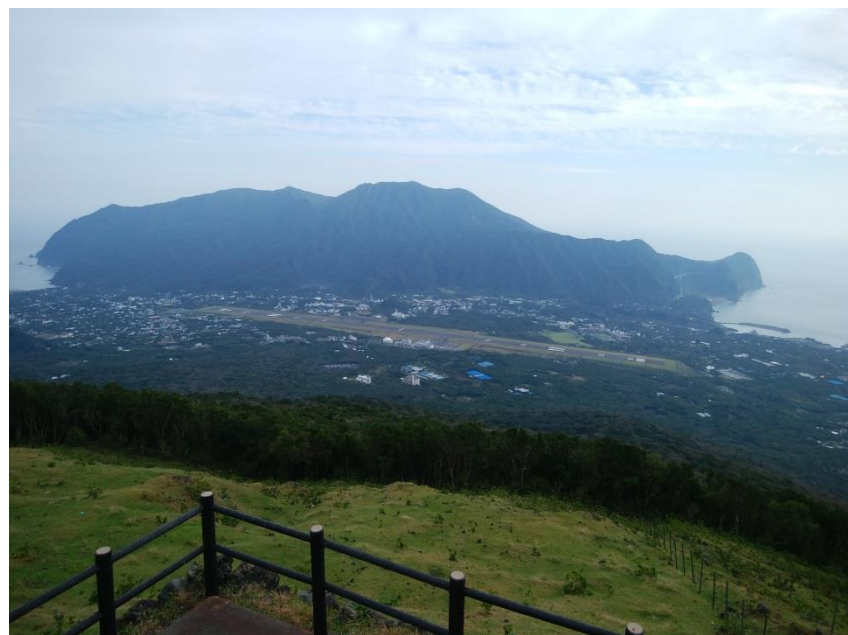
(利用交通機関) 羽田～(飛行機)～八丈島 泊
～(ヘリコプター)～三宅島 泊～(飛行機)～調布

八丈島

島の雄大な自然



ふれあい牧場



牧場から島を一望

● 玉石垣の街並み



八丈植物公園



大賀郷

● 観光MaaS実現に向けた実証実験



自動運転バス試乗



歴史ある特産品



黄八丈めゆ工房



伝来の歴史や製造手法の説明

現地事業者との意見交換



町長との意見交換



八丈町役場

八丈島のブランド化に向けて

□アドバンテージ

- 羽田空港から唯一直行便が出ている。他道府県から東京に来た方、羽田着便で海外から来られた方にもアクセスしやすい。また近隣島へのハブとなり得る。
- 三原山と八丈富士を擁する(ひょっこりひょうたん島のモデルとなったともいわれる)雄大な自然と、黄八丈・和太鼓などの伝統文化、縄文時代から人が住み、更に島人が沖縄の南北大東島まで遠征し文化を伝えた開拓者精神など、数々のストーリーがある。
- 島寿司、はるとび、なつとび(トビウオ)、金目、芋、うどん文化等食文化も豊か。
- 雨の多い島だが、雨天でも、屋内施設のビジターセンター、黄八丈の実演販売所(めゆ工房等)などが充実しており来訪者を飽きさせない。
- 島外からの移住者が古いホテルを立派に再興させることに成功するなど、宿泊施設も整っている。
- 農業(明日葉、観賞用の葉、サカキなど)や漁業のほか、酪農業も盛んで、八丈島乳業はチーズや乳製品にも幅を広げつつ、他島とのコラボや本島へのアウトリーチなども積極的に行っており注目。

八丈島のブランド化に向けて

□今後の改善点

●大島などと同様、東京宝島の中では知名度は抜群に高いので、これを活かしてもっとアウトリーチしていくべきだろう。乳業の取り組みは注目に値するが、多様な産品をエバンジェリストにして、都、他道府県や海外に向けて発信力を高めることが望まれる。

●雨多く風の強い島、というイメージは逆手にとれる。「月に35日は雨が降る」と言われる屋久島なども、その雨量の多さを訴求して、屋久杉や深い森の成り立ちを紹介している。雨の日の観光メニュー開発なども面白い。また、黒足アホウドリなどが生息する八丈小島(無人島)のツアーももっと力を入れてはどうか。

●山下町長も悩んでおられる人口減少だが、島の産業には秘められた力があると思う。事業家意欲が高い人も多い。雇用の機会を増やすとともに、「八丈島ファン」を1ターンで呼び込んで、活気ある島にしていきましょう。アドバンテージは、他の島よりも高いといえるでしょう。

三宅島ウォーキング・見どころマップ/Miyakejima Walking & Sightseeing Map

三宅島内で守っていただきたいこと

For your safety, please take the following precautions while on Miyakejima.

立入規制区域に近づかない! / Keep away from restricted areas.

●島内では、二酸化硫黄濃度が高くなりやすい地域に対して立入規制区域が設置されています。立入規制区域には、次の2種類があります。

Entry to certain areas of the island with a high concentration of sulfur dioxide is restricted. There are two types of restricted areas:

立入禁止区域
Entry prohibited

危険区域
Hazardous area

注意報・警報時の確実な対応行動! /

Pay attention to warnings and take appropriate action.

●二酸化硫黄濃度に関する警報は、発令エリアごとに発令されます。自分のいる発令エリアを確認し、おくとともに、放送(防災行政無線放送)を聞き逃さないようご注意ください。

Sulfur dioxide warnings are issued for the respective areas affected. Confirm which area you are in. Make sure not to miss the emergency public address announcements by loudspeakers.

ご注意! Notice

以下に該当する方は、二酸化硫黄に対する感受性が高いと考えられます。ルールを守り、安全で楽しい観光をお楽しみください。

Persons with the following conditions are highly sensitive to sulfur dioxide. Please observe the rules and have a safe and pleasant stay.

- ぜん息の人 Asthma
- 気管支・肺に疾患がある人 Lung or bronchial diseases
- 心臓が悪い人 Heart disease
- 妊婦および新生児・乳児 Expectant mothers, newborns and infants

火山ガスのレベルと回転灯の色

Volcanic gas levels and warning lamp colors

- レベル1 0.2~0.6ppm
- レベル2 0.6~2.0ppm
- レベル3 2.0~5.0ppm
- レベル4 5.0ppm以上



緊急放送機(屋外スピーカー)
Emergency public address system (outdoor loudspeaker tower)



三宅島 Miyakejima



- ### 凡例/Legend
- ↑ 海水浴場/Swimming beach
 - ⌘ 寺院/Buddhist temple
 - ⌘ 神社/Shinto shrine
 - ☆ 名所/Sightseeing spot
 - ♨ 温泉/Hot spring
 - ⌘ 銀行/Bank
 - ⌘ 郵便局/Post office
 - ♀ バス停/Bus stop
 - 🛍️ ショップ/Shop
 - 🍽️ レストラン/Restaurant

三宅島

火山の雄大な景観



七島展望台



火山体験遊歩道

エコツーリズムに向けた準備



雄山



風速計と火山ガスの濃度の測定計

特色ある島の地形



サタドー岬



伊豆岬

野鳥観察ポイント



大路池



大路池園地

三宅島のブランド化に向けて

□アドバンテージ

- 20年に一度噴火する雄山を抱える島ゆえ、観光などの誘客には不利と思っていたが、自然の脅威に向き合いながら、そこに生活・文化の基盤を築いてきた島の人たちと、火の山が共存する姿には、実は大いなるストーリーがあり、これこそアドバンテージであると気付かされた(さらに、2000年の最後の噴火が、割れ目噴火ではなく山頂火口からだったので、20年周期を終え、次の噴火は相当先ではないかとも言われている)。
- 火の山と共存する島として、過去の噴火で埋まってしまった学校などが保存されており、上記とは反対に、自然の脅威を体感する場も残されている。
- 新鼻新山、雄山、大路池、サタドー岬など、素晴らしい景観やエコツーリズム・トレッキング、バードウォッチングなどに適した自然が溢れている。
- バイクレースやバイク4大メーカーのグリーンエンジン試乗会もあり、三宅島スポーツ振興会の活動を通して、スポーツの島というイメージも形成されつつある。
- 三本岳付近など周辺の海域は良質な漁場であり、多くの釣り客も訪れている。

三宅島のブランド化に向けて

□今後の改善点

- 20年前の噴火で3,800名いた島民は、現在2,500名になっている。こちらの島でもI-ターンを呼び込むべく努力が必要。実際に、意欲的な島外出身者もすでに活躍している。詳しく知れば、三宅島に独特の価値を感じる人も多いはず。
- 噴火で甚大な被害を受けたにも関わらず、これだけ復興しているという姿を見せる。あるいは、来島者や島を支える関係企業にも、島の安全イメージを訴求して(根拠を持ってだが)、意識を変えてもらうことが大事。
- 若いファミリーから、シニアまで、幅広くターゲットを想定できるものの、宿泊施設やキャンプ場の整備などが今後望まれる。
- 多くの釣り人が訪れているにも関わらず、釣りを終わるとそのまま帰ってしまうため、島に泊まらず島にお金も落ちないという問題がある。釣り人にも訴求できる魅力ある施設整備が重要。
- 現在山頂付近は立入禁止だが、雄山のトレッキングなどは、安全面でも検証しながら、ツアー化していくことが望まれる。

委員からの視察報告 <神津島>



山田 敦郎 委員長



式根島
神津島

大島
利島
新島
三宅島
御蔵島

八丈島

青ヶ島



父島

母島

東京・横浜・大島・利島・新島・式根島へ
To Tokyo, Yokohama, Oshima, Toshima,
Niijima, Shikinejima



神津島 Kouzushima

1
下田へ
To Shirogane

2

3

A

B

C

D



- 凡例 / Legend
- 海水浴場 / Swimming beach
 - 寺跡 / Ruined temple
 - 神社 / Shinto shrine
 - 名所 / Sightseeing spot
 - 温泉 / Hot spring
 - 郵便局 / Post office
 - バス停 / Bus stop
 - ショップ / Shop
 - レストラン / Restaurant

神津島

11月17日(日)～18日(月)

(利用交通機関) 調布～(飛行機)～神津島 泊
～(飛行機)～調布

● 山と海の美しいコントラスト



天上山と多幸湾

● 豊富な地下水



多幸湧水

湧水で造るクラフトビール



魅力あふれる島内スポット



ありま展望台



多幸湾公園ファミリーキャンプ場



はるか展望台

夏の人気施設



赤崎遊歩道

星空観察



ありま展望台（写真は観光協会HPより）

島の基幹産業の一つである漁業



漁協



キンメダイの選別

神津島のブランド化に向けて

□アドバンテージ

- 島の名前にも込められた「神が集う島」、という神秘性がありながら、東京都心からのアクセスも便利な、とても身近な非日常体験が出来る場。
- 豊かな海洋資源(キンメダイを始めとする海の恵み)がある。高い漁獲量を誇り、釣り人も憧れを持って訪れる島となっている。
- 荒々しい岩肌や断層が魅力的な、トレッキングスポットにもなっている「天上山」など自然環境も素晴らしい。かつて名石が採掘され、本島に送られていたことも。人を惹きつける多くの要素を持っている島といえる。
- 数年前からの取り組みとして、島の学校に都会の子供を受け入れて、情緒豊かな教育を行っていること。都会の子は自然に触れて人間性を高め、刺激を受けた島の子たちにも学力が向上するなどの効果が。
⇒閉鎖的な島ではないことの証。

神津島のブランド化に向けて

□今後の改善点

- 今回前田村長自らご案内下さったので、大変分かりやすかったが、環境や資源がこれだけ揃うなか、実際にこれらをどう組み合わせ提示していくか、メニューづくりと案内役の育成が求められる。
- 宿泊させて戴いたホテルは、部屋も宴会場も整備され快適だったが、料理のメニューは、島の名物をもっと前面に押し出すなど工夫が必要。若い方が経営されている、クラフトビールを飲ませるバーは印象的。こうした店が増えることが、島の魅力をより高めていけるだろう。
- 海辺の小規模なキャンプ場は閉鎖し、大規模なキャンプ場へ集約しようとしている。どうしても宿泊施設がピーク時には不足しがちになるため、手軽で豪華に楽しめる、グランピングなどを検討すべき(素地のあるキャンプ場でした)。
- 波止場のそばに、お土産(特に海産物、干物など)が買える施設はあるのだが、クール宅配便なども最近利用可能になったとのことなので、買物の楽しみをもっと広げていくべき。

委員からの視察報告 <新島>

河野 奈保 委員



新 島

11月20日(水)

(利用交通機関) 調布～(飛行機)～新島～(飛行機)～調布

● 美しい白砂のビーチ



羽伏浦海岸

● 石づくりの特色ある景観



コーガ石の街並み

石材を活かした島の施設



石の動物園

若郷地区



若郷漁港

新島ガラス



ガラスアートセンター



ガラスを埋め込んだ都立新島高校敷地内の石碑

● 村内の宿泊施設



村営温泉ロッジ



新島羽伏浦野営場

● 島内事業者との意見交換



空き家をコミュニティースペースとして利活用

新島のブランド化に向けて

○台風による被害はあるものの特徴的な青い海と砂の粒、全7キロの岩壁、豊かなコーガ石と石材を活かした新島ガラスや石の街並みなど、魅力豊かな島で来島者数もここ数年は回復傾向

○抱えている課題に関しては明確で1)宿泊施設 2)島内の移動手段の2点

1)宿泊施設:目玉となる新施設だけではなく民泊の強化が必要。

年間来島者数(H29) 50,547人

宿泊施設 43軒 定員1,279人

2)島内の移動手段:CREWの導入など島会議がうまく回っているため引き続き島民活動支援継続。

新島のブランド化に向けて

案1) 宿泊事業者への補助金

指定候補地において宿泊施設化を進める事業者への補助金検討。

また、その際、“電子しまぼなどの電子マネー導入”や“言語対応”などインバウンド対応事業者であることなど条件を加えることも検討。

<参考> 電子しまぼ



東京11島をおトクに旅できる「東京島めぐりPASSPORT」

「電子しまぼ」とは、スマートフォンで利用できる東京島ファンのための観光パスポート（「東京島めぐりPASSPORT」）です。東京の11の島を旅する際、各島のスタンプと、島ごとに設定されたポイントを集めるスタンプラリーに参加できます。さらに「電子しまぼ」の画面を特典加盟施設で提示すると、割引等の特典やサービスを受けることができます。

電子しまぼの特典加盟施設一覧はこちら

東京11島の300以上の加盟店、竹芝の一部店舗でご利用できる電子しまぼ。現在、都の助成金2,000円により10,000円分のプレミアム付き宿泊旅行商品券を8,000円で購入可能。

<参考> 観光庁による宿泊施設のインバウンド対応支援



宿泊施設基本的なストレスフリー環境整備事業 ※本補助金は「宿泊施設インバウンド対応支援事業」から「宿泊施設基本的なストレスフリー環境整備事業」にも対応しました。

全国各地の観光地において、訪日外国人旅行者がストレスフリーで快適に宿泊できる環境を整備するため、旅館・ホテル等の宿泊施設が実施するWi-Fi整備、トイレの洋式化、案内表示の多言語化等の基本的なインバウンド受入環境整備の取組を支援する。

公募期間 2019年5月15日～7月19日 ※申請は随時受付を行います。予算の上限に達した場合は、順次打ち切らせて終了することになります。

1. 補助対象事業
共用部における①～③の基本的なインバウンド受入環境整備を支援する。
ただし、①～③を完備する客室の整備を行う場合は、客室における設備も支援する。

2. 補助率及び上限額
1/3補助 1宿泊事業者当たり上乗150万円

3. 補助対象事業者
旅館業法の営業許可を得た宿泊事業者（旅館・ホテル等）

※宿泊事業者（5以上）による協議会が「訪日外国人宿泊者受入体制拡充計画」を策定・申請を行う。
ただし一定の条件を満たす場合は1巻のみで「訪日外国人宿泊者受入体制拡充計画」を策定・申請できることとする。

4. その他条件について
過去に本補助金の交付を受けた宿泊事業者は対象外。ただし、一定の条件を満たす場合は再申請を可とする。

https://www.mlit.go.jp/kankocho/news06_000403.html

補助金上限150万円(本年度100万円から引き上げ)

新島のブランド化に向けて

案2) 土地情報を公開し地方創生ファンドや事業者との連携連携

土地情報の提供

宿泊データを元に収支のシュミレーション

地方創生ファンド

事業者により施設化

例: 楽天トラベルにてデータを使ってシュミレーション

Rakuten Travel

例: 楽天STAYにて個人や事業者のブランディングや運用, クラウドファンディングの活用提案等の支援可能

Rakuten STAY



全2戸 | 一戸建てタイプ
Rakuten STAY HOUSE x WILL STYLE 八幡堀
定員6名・寝室2室・寝具4組・浴室1室・70㎡



全2戸 | 一戸建てタイプ
Rakuten STAY HOUSE x WILL STYLE 河口湖船津
定員6名・寝室2室・寝具4組・浴室1室・70㎡



全5戸 | 一戸建てタイプ
Rakuten STAY HOUSE x WILL STYLE 高崎
定員6名・寝室2室・寝具4組・浴室1室・70㎡



全3棟 | 一戸建てタイプ
Rakuten STAY VILLA 宮古島 前浜ビーチ
定員5名・寝室1室・寝具3組・浴室1室・56.7㎡

参考) Rakuten STAY

Rakuten STAY

民泊施設および簡易宿所向け部屋ブランド

<目的>

民泊施設・簡易宿所の部屋クオリティを保証し、民泊を利用したことがない方も安心して民泊を利用いただける環境を整える

1. 部屋設備の平準化
2. アメニティグッズの平準化
3. サービスレベルの平準化

<サービス内容>

1. ブランドの貸与
2. ブランド導入時のコンサルティング
3. 部屋デザインの監修と施工管理
4. 物件の運用代行
5. フロント業務など現場での運用
6. 清掃管理業務、多言語での販売管理、CS業務
7. 物損保険を付帯



参考) Rakuten STAY

Rakuten STAY

Rakuten STAY HOUSE 木津川



Rakuten STAY HOUSE 八幡堀



Rakuten STAY VILLA 宮古島 前浜ビーチ



Rakuten STAY 山中湖



委員からの視察報告 <利島>



大洞 達夫 委員

利島・大島

10月18日(金)～19日(土)

(利用交通機関) 調布～(飛行機)～大島～(ヘリコプター)～利島 泊
～(ヘリコプター)～大島(ジェット船)～竹芝

● 村勢概要等の説明



利島村役場

● 島の歴史・文化



郷土資料館

島の人々の知恵



古くから使われてきた集水用水がめ（シデ）

近隣の島々を見渡せるスポット



南ヶ山園地

島の海産物（サザエ・伊勢海老等）



漁協

椿林



管理された椿林

椿林



作業中の農家の方



椿の実の運搬施設

椿油の製造



椿油精油センター



椿油のブランド化に向けた取組説明と意見交換

利島のブランド化に向けて

- 「利島の椿油」はブランド化の有力候補事業であると再確認。「椿の島」というストーリーに加え、精製度など品質に優れ、意欲ある人材が関わっている
- 加工原料中心の事業から、リスクをとって独自ブランドを打ち出す勇気と努力が必要
- Iターン人材の存在は大きい。吸収力があり、外部との協業関係も築きやすい

利島のブランド化に向けて

- 椿油事業にはキラーアイテムの開発を含め、マーケティングの進化が求められる。ブランド化支援事業として、支援の幅を広げる余地もある
- 椿油以外の可能性・・・観光地としては空路、海路の条件が悪い。島毎の個別発想ではなく、宝島コンシェルジュを構想してはどうか

委員からの視察報告 <青ヶ島>

楓 千里 委員



(©Makoto Harada)

青ヶ島・八丈島

10月28日(月)～29日(火)

(利用交通機関) 羽田～(飛行機)～八丈島～(船)～青ヶ島 泊
～(ヘリコプター)～八丈島～(飛行機)～羽田

● 青ヶ島の特徴的な地形



三宝港（青ヶ島港）



二重式カルデラ火山の内輪山（丸山）

青ヶ島の自然環境と恵み



ひんぎゃ（噴気孔）



製塩施設



現地ガイドからの説明



焼酎づくりに欠かせないオオタニワタリ

青ヶ島産焼酎「あおちゅう」



ブランド化に向けた意見交換



初垂れ（はなたれ）



青ヶ島酒造合資会社



製造工場

青ヶ島のブランド化に向けて

○マルチタスクの青ヶ島ライフスタイルの発信

自動車整備会社社長兼ネイチャーガイド兼ミュージシャンなど、一人何役もこなしながら、160人の島を支えているライフスタイルは、多様な生き方が推奨されている昨今のモデルケース。

○来島者とのコミュニケーション環境の整備

ヘリコプターやおおがしま丸、島内の宿泊、アクティビティーなどの予約窓口をWEB環境で一元化し、来島前、中、後の様々なタイミングで、双方向のコミュニケーションを活発化させ、双方の満足度を上げる。

青ヶ島のブランド化に向けて

○宙ツーリズムの聖地へ

宙ツーリズム推進協議会と連携し、天体観測の聖地として国内外に発信。天体観察の専門家やアマチュア観察家はアクセスリ
スクにも寛容で、観察地域への理解も深く、リピーターとして期
待できる。宙ツーリズム推進協議会 <https://soratourism.com/map>

○青酎ブランド化に合わせたマッチング料理の開発

ひんぎゃの蒸し料理や、ひんぎゃ塩を利用した料理、
初垂れを加えた料理などを開発し、青酎との楽しみ方を提案。